SURE 静岡大学学術リポジトリ
Shizuoka University REpository

情報技術に基づく大学事務支援の情報化に関する基礎と実践研究
(平成13年度情報学部研究プロジェクト報告)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2015-05-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 富樫, 敦, 長瀬, 真理, 高橋, 晃, 秡川, 友宏 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00008609

情報技術に基づく大学事務支援の情報化に関する基礎と実践研究

富樫　敦・長瀬真理・高橋　晃・秡川友宏（静岡大学情報学部）

1．はじめに

大学においては，依然として紙を中心とした事務処理が中心で，意志決定の迅速化，事務の効率化を達成するための障害になっている．本研究は，大学事務支援の情報化を目指す研究であり，今後予想される大学改革，定員削減などの問題から避けて通れない問題を，研究のレベルから試みるプロジェクとであり，その意義は高い．事務レベルでは，ペーパーレス構想など，事務電子化の流れはあるが，事務主導の場合が多く，本質的な解決にはならない場合が多かった．本研究では，これまで研究の対象にならなかった大学の情報化をエージェント技術の応用という形で推進したものであり，実用性の面で極めて意義のあるものである．また，XMLによる大学用事務文書の標準化への試みは未踏の分野であり，本研究は学術的に極めて独創性の高い研究である．

2．研究の概要

本研究は，大学における事務支援の情報化を推進するための基礎と実践研究を行い，大学における意志決定の迅速化，事務の効率化に貢献することを目的とする．以下に研究項目を挙げる．

【研究項目 1】事務支援の情報化に適した分散システム開発用プラットフォームの構築：

本項目では，本研究グループの成果である移動エージェント計算モデルM-piやLindaモデルを基礎に，事務支援に適した非同期コミュニケーションモデルを開発し，ユーザビリティを考慮してJavaやServletを用いてそのプラットフォームを構築した．

【研究項目 2】XML技術に基づく大学用事務文書の標準化と業務の情報化：

大学における業務の情報化を達成するためには，文書の構造や意味を反映した業務文書の標準化と異なる部局にまたがるシステムの融合化が必須となる．本研究では，XML技術に基づき，今後の大学の業務に適した文書形態を定め，業務システムの情報化を行うための方策とそのシステムを試作し，評価検討を加え業務の情報化を行うための基礎を確立した．

3．発表論文

(1) Atsushi Togashi, Satoru Tsukasaki, Fumiaki Kanezashi: “M-pi: A Mobile Agent Calculus with Module Description”, Proc. of World Multiconference on Systemics, *Cybernetics and Informatics, Vol. XIV Computer Science and Engineering Part II*, pp.338-343, 2001.

(2) Fumiaki Kanezashi, Atsushi Togashi: “M-pi calculus: A calculus for module description”, *Proc. of 2nd International Conference on Software Engineering, Artificial Intelligence, Networking & Parallel/Distributed Computing*, pp.38-45, 2001.

(3) Fumiaki Kanezashi, Atsushi Togashi: “M-pi

calculus: A calculus for module description", *International Journal of Computer Information Science*, Vol.2, No.4, pp.152-161, 2001.

(4) Kentaro Murakata, Fumiaki Kanezashi, Atsushi Togashi: "A Process Calculus with Description of Computer Resources", *Proc. of JICAST2002*, pp.67-72, 2001.

(5) Fumiaki Kanezashi, Xiaosong Lu, Atsushi Togashi: "System Requirement and Formal Specification of Hierachical Reactive Systems", 情報処理学会論文誌，Vol.43, No.2, pp.361--371, 2002.

(6) 太田健，富樫敦：大学事務処理電子化のための環境の構築，ソフトウェア工学の基礎VIII，レクチャーノート／ソフトウェア工学，日本ソフトウェア科学会FOSE-2001，pp.199-2002，近代科学社，2001.